



上智大学イベロアメリカ研究所

2008年度活動報告

(2008年4月～2009年3月)

No. 16 (2009年5月)

§ 研究会

◆研究所共同研究

「グローバル化時代のラテンアメリカ地域研究と教育」

研究代表者：堀坂浩太郎

共同研究者：Nina HASEGAWA、幡谷則子、今井圭子、岸川毅、三田千代子、Mauro NEVES、大越翼、清水憲男、田村梨花、谷洋之、Helena TOIDA

海外出張：Helena TOIDA (ブラジル、8月15日～9月8日)

谷洋之 (メキシコ、2月23日～3月6日)

◆ランチタイム・フリートーク

第12回 4月30日 今井圭子「コスタリカの自由貿易協定論争について」

第13回 5月29日 武田和久「17・18世紀パラグアイ管区イエズス会布教区の実態解明に向けて—『命令書』に関する予備的考察—」

第14回 6月25日 清水憲男「固定化を目指さぬ言語統制に向けて—スペインとラ米アカデミーの共同作業—」

第15回 7月24日 増山久美「アイス王国を築いた村—メキシコ、ミチョアカン州の貧農たちの経済ネットワークと村の発展—」

第16回 10月29日 村瀬幸代「チリ果物輸出産業発展における小規模農家の位置づけの変化—南部第8州におけるラズベリー栽培農家の事例から—」

第17回 11月26日 齋藤亜子「メキシコ、オアハカ州の地方政治の一例—テオティトラン・デル・バジェの集会における住民参加—」

第18回 1月14日 水谷裕佳「米国メキシコ国境と先住民」

◆平成20年度科学研究費補助金 基盤研究(B)

「メキシコ革命の100年：歴史的総括と現代的意義—国際比較の観点から」

研究代表者：堀坂浩太郎

共同研究者：岸川毅、箕輪茂、Mauro NEVES、谷洋之、尾尻希和 (東京女子大学)

研究会：第1回 (5月7日) 昨年度の研究成果について (各分担者個別報告)
本年度における研究計画について

第2回 (5月28日) Mauro NEVES「メキシコ映画とメキシコ革命—描写から寓話へ—」

第3回 (7月2日) 堀坂浩太郎「メキシコ革命と資源ナショナリズムの関係性研究—ブラジルとの比較・関連性研究—」

岸川毅「革命党再考—公式政党はどのように成立したのか—」

第4回 (7月16日) Ángel SALAS ALFARO “La Revolución Mexicana, la Constitución de 1917, y Don Venustiano Carranza y el Constitucionalismo”

- 第5回（7月30日） 谷洋之「メキシコ国民経済の建設構想」
 箕輪茂「革命イデオロギーの源泉—19世紀末以降の自由主義者たち—」
- 第6回（9月30日） 尾尻希和「キューバ革命」
- 第7回（10月21日） 青木利夫（広島大学）「20世紀前半のメキシコにおける社会改良運動としての農村教育」
- 第8回（1月27日） 本年度の研究活動総括
 来年度の活動計画
 2010年度に予定している国際シンポジウムのアウトライン

海外出張：箕輪茂（メキシコ、2月23日～3月21日）

堀坂浩太郎（メキシコ、2月28日～3月8日）

尾尻希和（アメリカ、プエルトリコ、ジャマイカ、8月25日～9月15日）

Mauro NEVES（メキシコ、3月7日～3月18日）

岸川毅（メキシコ、3月12日～3月28日）

§ ラテンアメリカ事情講座（ソフィア・コミュニティ・カレッジにて開講）

◆第31回「メキシコ革命とは何だったのか—100年の軌跡と展望—」

2008年10月7日～2009年1月6日（毎火曜日、全12回）

コーディネーター：谷洋之

受講者数：6名

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| ①イントロダクション：メキシコ革命はどのように語られてきたか | 谷洋之（上智大学）
岸川毅（上智大学） |
| ②メキシコ革命とナショナリズム (1)
石油国有化を事例として | 堀坂浩太郎（上智大学） |
| ③メキシコ革命とナショナリズム (2)
「混血」とインディヘニスモ | 青木利夫（広島大学） |
| ④メキシコ革命とナショナリズム (3)
経済建設と第三世界主義 | 谷洋之（上智大学） |
| ⑤メキシコ革命とナショナリズム (4)
映画からみるナショナリズム | Mauro NEVES（上智大学） |
| ⑥メキシコ革命と先住民 | 大越翼（上智大学） |
| ⑦メキシコ革命の制度化：PRI体制の成立と展開 | 岸川毅（上智大学） |
| ⑧メキシコ革命体制の終焉 (1)
「民主化」とPRI体制の崩壊 | 岸川毅（上智大学） |
| ⑨メキシコ革命体制の終焉 (2)
「自由化」と経済の「北米化」 | 堀坂浩太郎（上智大学） |
| ⑩域内大国としてのメキシコ：中米・カリブ海諸国からの視点 | 尾尻希和
（東京女子大学） |
| ⑪「革命」は終わったか?：「遺産」の継承と拒絶 | 箕輪茂（上智大学） |
| ⑫メキシコの近未来を展望する | 講師座談会 |

§ 講演会

◆5月26日 “Introducción a las lenguas mayas y perspectivas de investigación”

（マヤ諸語研究への誘い）

Valentina VAPNARSKY（フランス国立科学研究センター主任研究員）

- ◆ 6月26日 「ラテンアメリカ日系大使3人、日本との関係を語る」
Masakatsu J. ASHIMINE O. (駐日ボリビア共和国特命全権大使)
Isao TAOKA (駐日パラグアイ共和国特命全権大使)
Seiko L. ISHIKAWA K. (駐日ベネズエラ・ボリバル共和国特命全権大使)
- ◆ 7月17日 “El cambio político en los estados de México : una perspectiva de San Luis Potosí”
(変わるメキシコの地方政治—サン・ルイス・ポトシ州の現場から—)
Ángel SALAS ALFARO (グアダラハラ大学客員教授・イベロアメリカ研究所客員研究員)
- ◆ 10月9日 “El Perú y el Asia Pacífico : Cumbre APEC y proyección”
(ペルーとアジア・太平洋地域—APEC2008年リマ首脳会議とその意義—)
Hugo PALMA (駐日ペルー共和国特命全権大使)
- ◆ 10月16日 “Problemas legales de la frontera México-Estados Unidos”
(メキシコ - 米国内国境に関する法的諸問題)
Manuel GONZÁLEZ OROPEZA (メキシコ国立自治大学法学研究所主任研究員兼連邦司法府選挙裁判所裁判官)

“La migración indígena en la frontera sur de México”
(メキシコ南部国境における先住民の移民問題)
Ana Luisa IZQUIERDO Y DE LA CUEVA (メキシコ国立自治大学文献学研究所マヤ研究センター主任研究員)
コメンテーター：岸川毅 (上智大学)
〈後援：メキシコ大使館〉
- ◆ 10月29日 “Colombia - a land of opportunities : development through security”
(機会あふれる国コロンビア—治安問題を乗り越え新たな発展の時代—to—)
Francisco SANTOS CALDERÓN (コロンビア共和国副大統領)
〈主催：上智大学、共催：イベロアメリカ研究所・イスパニア語学科、後援：コロンビア大使館・日本ラテンアメリカ学会〉
- ◆ 11月6日 “El teatro popular en Colombia y el Teatro La Candelaria”
(コロンビアの民衆演劇)
Santiago GARCÍA (テアトロ・ラ・カンデラリア主宰・演出家)
〈後援：コロンビア大使館・ラテンアメリカ演劇研究会、協力：日本演出者協会〉

§ シンポジウム

- ◆ 11月15日 日本ブラジル交流年記念シンポジウム
『日系ブラジル人がみる日本移民100周年』
開会の辞 堀坂浩太郎 (上智大学)
第1部
基調講演 「ブラジルの日本移民100年と日本語」
エルザ・タエコ・ドイ (カンピーナス大学大学院教授・
國學院大學短期研究員)
講演 「日系人としての誇りを伝える教育を目指して」
戸澤江梨香 (日伯学園園長)
「スポーツによって距離を縮める」
安光マリオ (天竜フットサルリーグ代表)
「ブラジルのジンガ、日本の型」
秋山廣久 (有限会社イー・ブラジル代表取締役)

第2部

日系ブラジル人によるラウンドテーブル

学生「若い世代にとっての100周年」

モデレータ：エヂソン・ウラノ（上智大学）

パネリスト：アレクサンドレ・タカハシ（上智大学）

ディオゴ・ケンジ・マツモト（早稲田大学）

フラビア・ヤナセ（国際基督教大学）

アンドレ・ホシイ（神田外語大学）

社会人「新たな100周年に向けて」

モデレータ：エレナ・トイダ（上智大学）

パネリスト：アナ・エリーザ・ヤマグチ（上智大学）

エリカ・トング（上智大学ポルトガル語圏研究所客員研究員）

ヒカルド・ヤマモト（写真家）

秋山廣久

まとめ 堀坂浩太郎

閉会の辞 市之瀬敦（上智大学）

コーディネータ エレナ・トイダ

〈主催：イベロアメリカ研究所・ポルトガル語圏研究所・ポルトガル語学科〉

§ 出版物

◆ 『2007年度活動報告』 No. 15

◆ *Boletín Informativo*, No. LIII

◆ HASEGAWA, Nina, *Los estudios literario-culturales en América Latina hoy: una visión comparatista*.

(Serie monografías latinoamericanas No.18)

Introducción

Cuadernos de América sin nombre: Una revista cultural hispano-latinoamericana

Ana del Sarto: *Cultural studies* vs Estudios culturales latinoamericanos

Tomo Virk: Literatura comparada vs *Comparative cultural studies*

Dorothy Figueira: La Quimera del *multiculturalism* norteamericano

Hugo Dyserink: Historia y razón de ser del comparatismo

Marcel Bataillon y Octavio Paz: Dos modelos de comparatismo para América

Cao Shunqing y Ana Pizarro: El reto *cross-cultural*

Pensar el mundo de manera global: Frutos de una experiencia personal

Conclusión

Notas

Bibliografía

◆ トイダ、エレナ編『日本ブラジル交流年記念シンポジウム 日系ブラジル人が見る日本移民100周年』（ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ LAMS No.19）

エレナ・トイダ「ブラジルへの日本人移住100周年に際して」

第1部 午前部

堀坂浩太郎「開会の辞」

基調講演

エルザ・タエコ・ドイ「ブラジルの日本移民100年と日本語」

戸澤江梨香「日伯両国で生きるための教育を目指して」

安光マリオ「スポーツによって距離を縮める」

秋山廣久「ブラジルのジंगा、日本の型」

第2部 午後部 日系人によるラウンドテーブル

学生「若い世代にとっての100周年」（モデレータ：エヂソン・ウラノ 上智大学講師）

アレクサンドレ・タカハシ「日本人のブラジル移住100周年、日系・アイデンティティ、

そして在日ブラジル人の未来」

ディオゴ・ケンジ・マツモト「私の経験した日本と将来」

フラヴィア・ヤナセ「日系ブラジル人としての気づき」
アンドレ・ホシイ「素直な気持ち」
社会人「新たな100周年に向けて」(モデレータ: エレナ・トイダ)
エリカ・アヤコ・サカタ・トング「アイデンティティ—人生、生存、抵抗についての一考察—」
アナ・エリーザ・ヤマグチ「エスニック・アイデンティティの追求?!」
ヒカルド・ヤマモト「旅立ち」
秋山廣久「移民100周年の意義、日本社会と日系人の貢献について」
市之瀬敦「閉会の辞」
プログラム

◆ 『イベロアメリカ研究』

第XXX巻第1号 (2008年度前期)

特集 ラテンアメリカに受容された HAIKU

清水憲男「ボルヘスの『俳句』」

エレナ・H・トイダ「ブラジルにおける俳句の歩み—『桜の花』から『イペーの花』へ—」

林屋永吉、ドナルド・キーン「講演: 『奥の細道』—異文化を行く—」

論文

林和宏「第五共和国運動から社会主義革命へ—チャベス政権下ベネズエラにおける『参加型民主主義』の変容—」

パトリシア・ロサレス＝シエラ「メキシコ憲法のゆくえ—2000年以降の憲法改正論議に関する考察—」

書評

北野浩一 “Muñoz Gomá, Oscar, *El modelo económico de la Concertación 1990-2005: ¿Reformas o cambio?* (Santiago de Chile: FLACSO-Chile, 2007), 287p”

村瀬幸代 “Larraín, Guillermo, *Chile, fértil provincia: Hacia un Estado liberador y un Mercado revolucionario* (Santiago de Chile: Random House Mondadori, 2005)”

資料

ラテンアメリカ日誌—2007年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

第XXX巻第2号 (2008年度後期)

講演

SHIMIZU Norio, “César Vallejo desde / en España”

論文

乗浩子「解放の神学から先住民神学へ」

笠原樹也「1980年代ペルーの政軍関係—民政移管後の民軍対立の深刻化に関する一考察—」

研究ノート

Marcos Pablo MOLOEZNİK, “La naturaleza de la principal amenaza a la seguridad nacional y la respuesta estatal en México: el proceso de militarización de la seguridad pública”

山内熱人「何に価値をおいて移出するのか—メキシコ、オアハカ州、サポテコ人村落の事例から—」

齋藤亜子「メキシコ、オアハカ州の先住民居住地における行政運営での住民参加—テオティトラン・デル・バジェの事例—」

高橋慶介「罵りの文化—ブラジル北東部バイーア州ヘコンカヴォ地域における男性性とその二重性—」

書評

大場樹精 “Rocchi, Fernando, *Chimneys in the Desert: Industrialization in Argentina during the Export Boom Years, 1870-1930* (Stanford: Stanford University Press, 2006), 394p”

資料

日本・ラテンアメリカ関係日誌—2007年—

研究所ニュース
活動日誌
出版物リスト
編集後記

§ 来訪者

- 4月 17日 (財) フォーリン・プレスセンター招聘ブラジル人記者4名
Rogerio WALDRIGUES GALINDO (「エディトラ・ガゼッタ・ド・ポーボ」紙記者)
Luis Flavio MATTA COSTA (「ジアリオ・ド・パラ」紙記者・編集員)
Dimmy Michael da SILVA PRAIA (「アマゾナス・エン・テンポ」紙記者・編集員)
Tatiana Maria COSTA MIRANDA SOTERO (「ディアリオ・デ・ペルナンブコ」紙記者)
- 6月 6日 Byron René ESCOBEDO MENÉNDEZ 駐日グアテマラ特命全権大使
6月 24日 Fernando Javier PONCE LEIVA 駐日エクアドル特命全権大使
9月 16日 Keith JORDAN 駐日アメリカ合衆国大使館政治部一等書記官
3月 23日 Hernán LUCENA MOLERO (ベネズエラ) 国立ロス・アンデス大学アフリカ・アジア研究センター所長

§ 図書室

蔵書数：36,996冊（和書3,851冊、洋書33,145冊）
所蔵雑誌：826点、うち洋雑誌746点
購入図書：290冊（和書54冊、洋書236冊）
受贈図書：160冊（和書17冊、洋書143冊）
除籍図書：54冊（和書4冊、洋書50冊）
貸出図書：971冊
利用者数：1,190人、うち学外者228人
利用者カード発行数：74件

§ 人事

◆ 正所員

Jaime FERNÁNDEZ 教授、今井圭子教授、清水憲男教授は2008年3月31日付けで正所員の任期を満了した。

◆ 助手

箕輪茂助手は任期満了により2008年3月31日付けで本学を退職した。

◆ 客員研究員・共同研究所員

Ángel SALAS ALFARO(7月1日～7月24日)

◆ 準所員

藤井嘉祥、増山久美、水谷裕佳、村瀬幸代、齋藤亜子、武田和久*。

*任期4月1日～10月31日

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC 順）

HASEGAWA, Nina

2008 年	論文	“La piedad filial en la literatura japonesa y mexicana,” in <i>The proceedings of the East Asian-South American Comparative Literature Workshop 2007, Eighteenth Congress of the International Comparative Literature Association</i> (Osaka : Institute for International Understanding, Tezukayama Gakuin University, 2008), pp. 17-29.
11 月 30 日	発表	「メキシコの浮世絵コレクター」第 13 回国際浮世絵大会（於:学習院大学）。
12 月 1 日	講義	「ホセ・グアダルーペ・ポサダと骸骨版画」国際交流基金 2008 年度第 1 期異文化理解講座—中南米理解講座『メキシコの美の巨匠たち:美術・建築・写真・映画』（於:国際交流基金ホール）。
3 月 11 日～ 25 日	現地調査	メキシコ。平成 20 年度大学院教育改革支援プログラム、上智大学グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻「現地拠点活用による協働型地域研究者養成」による出張。
3 月 24 日	論文	「メキシコの浮世絵コレクター・タブラーダと暁斎」『暁斎:河鍋暁斎研究会会誌』98号)34-36 ページ。

幡谷 則子

4 月～3 月	在外特別研究	コロンビア。
6 月 19 日～ 7 月 5 日	現地調査	コロンビア、サンタンデール県南部、ランダスリ郡、インディア郡およびペニョン郡における農村共同体と農民運動に関する調査。
7 月 10 日～ 13 日	現地調査	コロンビア、サンタンデール県南部、ペニョン郡、ラ・ビクトリア村調査。
7 月 17 日～ 24 日	現地調査	コロンビア、カウカ県北部、先住民組織 NASA の伝統行事(「種の祭り」)への参加・調査。
7 月 28 日～ 31 日	現地調査	コロンビア、サンタンデール県、バラカバルメッハ市、「マグダレーナ川中流域和平と開発プログラム」のプロジェクトサイト見学(ボリーバル県南部、サンタ・ロサ・デル・スル郡ほか)。
8 月 13 日～ 18 日	現地調査	コロンビア、サンタンデール県南部、ペニョン郡、ランダスリ郡、リオ・ブランコ村訪問調査。農民組織リーダーへの聞き取り調査。
8 月 17 日	共編著	「序—グローバル化と貧困、開発、紛争」、「紛争と経済—コロンビアの国内避難民 (IDP) 問題をめぐるグローバル/ローカル・イニシアティブ」(幡谷則子、下川雅嗣共編『貧困・開発・紛争—グローバル/ローカルの相互作用』地域立脚型グローバル・スタディーズ叢書 3 上智大学出版) 1-12、50-88 ページ。 ISBN:9784324084373
8 月 26 日～ 28 日	現地調査	コロンビア、ラ・グアヒラ県、リオアチャ市にて、セレホン基金 (Fundación Cerrejón) のセレホン石炭開発地域における対先住民 (Wayuu 族) 社会開発プロジェクトの訪問調査。
9 月 18 日	発表	“Debates críticos sobre el concepto de ‘participación comunitaria’: las experiencias de los barrios periféricos de Bogotá, una nueva visión hacia el sector rural de Colombia”, presentación en el conversatorio departamental de la Pontificia Universidad Javeriana, EAR(Facultad de Estudios Ambientales y Rurales). コロンビア、ボゴタ、ハベリアーナ大学環境問題・農村開発学部、博士後期課程特別セミナー。
9 月 23 日～ 10 月 9 日	現地調査	コロンビア、チョコ県、キブドー市およびアトラト川中流域農村コミュニティ調査。
10 月 23 日～ 11 月 25 日	現地調査	コロンビア、サンタンデール県南部、ボリーバル県南部における農村・鉱山村における草の根開発運動と組織化に関する調査。

11月28日	講演	“Cambio contemporáneo de la configuración rural-urbana en Japón: Modernización, industrialización y globalización”, conferencia en el “Viernes Rural” de la maestría sobre el desarrollo rural, Facultad de Estudios Ambientales y Rurales, Pontificia Universidad Javeriana. ハベリアーナ大学環境問題・農村開発学部、博士前期課程特別講演会。
12月1日～3日	現地調査	コロンビア、サンタンデール県、ブカラマンガ市。サンタンデール県庁開発課における聞き取り調査、及び、同市にて開催されたボリーバル県南部地域開発と和平に関する行政と市民社会のワーキング委員会にオブザーバーとして参加。
2月	記事	<機関紹介>「ハベリアーナ教皇大学 環境・農村研究学部」(『ラテン・アメリカ論集』2008 No.42) 69-71 ページ。
2月2日～6日	現地調査	コロンビア、サンタンデール県南部、ベレス郡、ペニョン郡における聞き取り調査。
2月17日～26日	現地調査	コロンビア、チョコ県、キブドー市およびボハジャ郡における、国内避難民の移動過程と移動後の共同体形成に関する調査。
3月3日	講演	“Debates críticos sobre la ‘participación comunitaria’: las experiencias de los barrios periféricos de Bogotá”, seminario de interacción, Facultad de Economía, Universidad Externado de Colombia. エクステルナード大学経済学部特別セミナー。
3月4日～11日	現地調査	コロンビア、ナリーニョ県、パスト市およびバルバコア郡におけるアフロ系住民組織と行政の参加型開発計画作成過程に関する調査。
3月12日	発表	“MADADAYO: cinema japonesa y su cultura”, presentación en el conversatorio departamental de la Pontificia Universidad Javeriana, Facultad de Estudios Ambientales y Rurales. ハベリアーナ大学環境問題・農村開発学部特別学際セミナー。

堀坂 浩太郎

4月10日	事典項目	『ブリタニカ国際年鑑 2008』(日本版)の項目「ラテンアメリカ」。
8月28日	講演	「地の塩としてのニッケイ—ブラジル・日本関係の根底に」第19回全ブラジル日本語・日本文学・日本文化教師学会および第6回国際日本研究学会におけるラウンドテーブル「移民の所産」(於:ブラジル、リオデジャネイロ市、リオデジャネイロ連邦大学)。
8月20日～9月10日	出張	ブラジル、エクアドル。上記講演のため及びエクアドル取材のための出張。
9月29日	講演	「グローバルな課題に対するラテンアメリカ・カリブ地域の重要性」米州開発銀行アジア事務所主催「グローバルな課題に対する日本・アジアとラテンアメリカ及びカリブ海地域との連携・協力に関するシンポジウム」(於:国際協力銀行講堂)。
10月25日	発表	「南米の資源ナショナリズムと地域主義—天然ガスをめぐる相克」日本国際政治学会 2008 年度研究大会(於:つくば市、つくば国際会議場)。
11月16日	講演	「ブラジルの企業社会と日系企業」海外移住資料館シンポジウム「ブラジルにおける日系企業」。
1月	論文	“Japanese Presence in Brazil 100 Years After the First Immigration: Roles of Nikkei and Business,” <i>Humania del Sur</i> (Venezuela), Año 3, No.5, pp.15-26.
1月25日	記事	「ラテンアメリカの経済—グローバル化への足跡」(『ラテンアメリカ時報』52 巻 1号) 20-25 ページ。
3月18日	講演	「熱帯アンデスの国エクアドルを訪ねて」駐日エクアドル大使館主催(於: Café y Libros)。
3月	論文	「消費者層の拡大と大規模小売業の事業展開」(『ブラジルの消費市場と新中間層の形成』国際貿易投資研究所) 1-23 ページ。

今井 圭子

6月12日	講義	「ドミニカ共和国事情」国際協力機構。
11月13日	報告	「コスタリカの開発モデルと環境政策」上智大学地球環境研究所。
11月18日	報告	「日本とアルゼンチンの政治、経済、文化関係」米州開発銀行ビデオ会議『日本とラテンアメリカの学術交流』。
12月7日	学会報告	「ラテンアメリカの FTA と日本」ラテン・アメリカ政経学会定期大会共通論題コーディネーター。
12月12日	講演 論文	「ラテンアメリカの現状と展望—左派政権の台頭と日・ラ米関係」防衛省。 「アルゼンチンの政治、経済概況と農業生産・農産物貿易」(『平成 20 年度海外農業情報調査分析事業アフリカ・ロシア・東欧・中南米等地域事業実施報告書』国際農林業協働協会)137-154 ページ。

箕輪 茂

8月21日 ～9月20日	現地調査	メキシコ。科学研究費補助金(若手研究(B))「『民主主義の質』分析のための枠組み構築—メキシコの治安問題を題材に—」。
-----------------	------	---

三田 千代子

4月22日	講義	“Os japoneses no Brasil entre os dois países, o Japão e o Brasil”外務省平成 20 年度招へいプログラム「21 世紀日伯指導者交流計画:ブラジル若手日系リーダー招へい」。
5月	編著書	“Prefácio: Sociedade japonesa e migrantes brasileiros - Novos caminhos na formação de uma rede de pesquisadores,” em Mita, Chiyoko [et al.](eds.), <i>Sociedade japonesa e migrantes brasileiros : novos caminhos na formação de uma rede de pesquisadores</i> (Tokyo : Centro de Estudos Lusófonos, Universidade Sofia , c2008), pp. viii-xii.
10月25日	コメンテータ	「ブラジル日本移民研究における『空白』と『断絶』—研究深化への展開」立教大学国際会議「ブラジル日本人移民 100 年の軌跡」。
10月26日	パネリスト	「ブラジル日本移民の百年」JICA 海外移住資料館公開講座。
11月9日	問題提起	「ブラジルの日本人、日本のブラジル人」シンポジウム「在日ブラジル人これからの 100 年」主催:外国人政策研究所、駐ブラジル大使館、国際移住機関 IOM。
2月11日～ 3月11日	海外調査	ブラジル、サンパウロ州バストス市。科学研究費補助金「グローバル化時代の外国人労働者とホームランド—デカセギ・ブラジル人の事例」。
3月25日	著書	『「出稼ぎ」から「デカセギ」へ—ブラジル移民 100 年にみる人と文化のダイナミズム』(不二出版)。ISBN:9784835061979
3月26日	講演	“Atualidade sócio-econômica do Brasil: através da minha viagem recente”主催:浜松国際交流協会、ブラジル銀行、ブラジル連邦貯蓄銀行。

NEVES, Mauro

11月6日	講演	「ボサノヴァについて今語られるべき全てのこと」東京外国語大学ボサノヴァ 50 周年記念シンポジウム。
11月10日	講義	「メキシコのミュージズ(女優)たち」国際交流基金 2008 年度第 1 期異文化理解講座—中南米理解講座『メキシコの美の巨匠たち:美術・建築・写真・映画』(於:国際交流基金ホール)。
11月30日	研究ノート	“Dois filmes, duas etapas do cinema brasileiro, um mesmo tema: a chegada da família real portuguesa ao Brasil,” <i>Encontros Lusófonos</i> , No. 10, pp. 49-55.

2月22日	講演	“ <i>Como agua para chocolate</i> as a Food Film: Food, Family Ties and Emotion”, Symposium “Globalization, Food, and Social Identities in the Pacific Region” organized by Institute of Comparative Culture, Sophia University.
-------	----	--

大越 翼

6月	共著	“Vivir con fronteras: espacios mayas peninsulares del siglo XVI,” coautoría con Sergio Quezada, Rodrigo Liendo Stuardo (coord.), <i>El territorio maya : Memoria de la Quinta Mesa Redonda de Palenque</i> , (México : Instituto Nacional de Antropología e Historia), pp. 137-149. ISBN: 9789680303014
8月2日～ 9月5日	現地調査	メキシコ合衆国メキシコ市、ユカタン州、カンペチェ州。「科学研究費補助金(基盤研究(B))「日常実践におけるマヤ言説の再領土化に関する研究」研究代表者: 吉田栄人(東北大学准教授)。
8月21日	講演	“Las provincias en el Posclásico” en el “Módulo III: La civilización maya”, del Diplomado “Los mayas”, en el Instituto de Investigaciones Filológicas, UNAM, México.
9月3日	講演	“La organización socio-política maya: una propuesta”, en la Universidad Autónoma de Campeche, Cuerpo Académico Patrimonio y Desarrollo Sustentable, Campeche.
10月21日	講義	“Conceptos indígenas sobre el espacio: análisis de los mapas y textos mayas coloniales”, clase impartida en el seminario “Anthropology 280X: Maya Archaeology and History: Post-Classic and Colonial Northern Lowlands” organizado por el Dr. William Hanks y la Dra. Rosemary Joyce, Universidad de California, Berkeley.
11月	論文	「時の流れに抗して—三つのマヤ王家の由緒—」(『歴史学研究』847号)42-55ページ。ISSN: 0386-9237
12月7日	発表	「植民地体制下におけるユカタン・マヤの領域概念の研究」科学研究費補助金(基盤研究(B))「日常実践におけるマヤ言説の再領土化に関する研究」研究代表者: 吉田栄人(東北大学准教授)。
1月	共著	“En busca de los significados del <i>Códice de Calkini</i> : la experiencia de un historiador,” Camelo, Rosa y Miguel Pastrana Flores (eds.), <i>La experiencia historiográfica: VIII Coloquio de análisis historiográfico</i> (México : Universidad Nacional Autónoma de México), pp. 161-176. ISBN: 9786072002043
2月21日	講演	「マヤ文化における水と塩の利用を考える—私のフィールド・ノートから—」アンデス文明研究会主催冬季定例講座。
3月11日～ 28日	現地調査	メキシコ合衆国メキシコ市。平成20年度大学院教育改革支援プログラム、上智大学グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻『現地拠点活用による協働型地域研究者養成』に基づく、ソフィア・メキシコ・リサーチ・センター設定のための事前調査。

田村 梨花

1月24日～ 2月6日	現地調査	ブラジル(ベレン)。第9回世界社会フォーラム(アマゾン社会フォーラム)および第6回世界教育フォーラム参加。
3月9日	発表	「教育—世界教育フォーラムと子どもの権利分科会—」『世界社会フォーラム2009—ブラジル・ベレン参加報告会』WSF2009 in TOKYO 実行委員会(於: 総評会館)。
3月14日	発表	「ブラジルにおけるノンフォーマル教育実践の一考察—もう一つの世界を可能にする教育への取り組み」日本地理教育学会 持続可能な開発のための教育(ESD)研究会 2008年度第4回定例会(於: 専修大学神田キャンパス)。
3月31日	論文	「消費者運動と消費者行政」『ブラジルの消費市場と新中間層の形成』(ブラジル経済研究会報告書、財団法人国際貿易投資研究所)67-91ページ。

谷 洋之

7月15日	講演	「カルデロン政権を 20 世紀から展望する」日本経済団体連合会日本・メキシコ経済委員会総会(於:経団連会館)。
9月27日	編著	「NAFTA を逆手に取る—メキシコ・ハリスコ州におけるトウモロコシ・トマト生産の事例から—」(谷洋之、リンダ・グローブ編『トランスナショナル・ネットワークの生成と変容:生産・流通・消費』地域立脚型グローバル・スタディーズ叢書 2 上智大学出版) 28-63 ページ。ISBN: 9784324085073
11月15日	講義	「ラテンアメリカ経済を学ぶ」埼玉県北本市・上智大学公開講座(於:北本市文化センター)。
2月21日	発表	“From National Symbol to Economic Goods: A Brief History of Maize Consumption in Post-revolutionary Mexico”, Symposium “Globalization, Food, and Social Identities in the Pacific Region” organized by Institute of Comparative Culture, Sophia University.
3月12日	講義	「トマト:国境を越えた野菜/国境を越える野菜」国際交流基金 2008 年度第 2 期異文化理解講座—中南米理解講座『農産物で見る中南米』(於:国際交流基金 JFIC ホール[さくら])。
3月19日～ 28日	出張	メキシコ。日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金プロジェクト「食の消費と新たなアイデンティティの形成」。

TOIDA, Helena H.

7月	翻訳	『ブラジルのデモクラテック・エデュケーション』ビデオ・シリーズ「世界の教育最前線⑤」NPO 法人東京シュール・シュール大学映像プロジェクト。
9月1日 ～5日	発表	“A língua portuguesa no Japão”, Universidade de São Paulo, Universidade Cruzeiro do Sul, Universidade Évora, I Simpósio Mundial de Estudos da Língua Portuguesa.
11月30日	論文	「夢の航跡—ある移民俳人の記録—」(『Encontros Lusófonos』10 号) 25-35 ページ。

上智大学イベロアメリカ研究所
102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
Tel. 03-3238-3530 Fax. 03-3238-3229
E-mail: ibero@sophia.ac.jp
<http://www.info.sophia.ac.jp/ibero>